

令和8年 年頭のご挨拶

公益社団法人浜松東法人会 会長
荒澤 光彦

新年明けましておめでとうございます。浜松東法人会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は会員の皆様には、法人会活動に深いご理解とご協力を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、自民党の高市早苗総裁が令和7年10月21日、衆参両院の本会議で、第104代内閣総理大臣となりました。日本初の女性総理が誕生しました。総裁選前後から市場は高市総理を期待したのか日経平均株価は連日上昇し、52,400円代の市場最高値となりました。新政権による物価高対策や少子高齢化対策など日本経済の舵取りに期待するところがあります。

日米安保条約が今後どうなるのか、日米地位協定の見直しが進んでいくのか、何かと危惧されるところであります。台湾有事においても日中関係の摩擦が起きやすいと感じております。

日本経済においては、国内上場企業の内部留保の合計は600兆円貯まっていると言います。600兆円というのは日本のGDPに匹敵する金額です。その巨額な資金が眠っているということです。私はこの企業の内部留保をいかに設備投資や人材投資に向かわせることが出来るかが、今後の日本経済を左右すると考えております。設備投資による一括減価償却や減税措置など、企業の投資意欲を高めるような政策を進めて貰いたいと思います。

静岡県内の経済を見えますと、賃金の上昇やインバウンド客の増加など、家計消費関連で明るい話題が聞かれるようになりました。また企業活動においても生産能力の向上や、業務効率化等に向けた設備投資に前向きな企業が増加しており、地域経済は着実に成長していると言えます。

その一方、足元では南海トラフ臨時情報が発表されたり、大きな台風が発生したり線状降水帯による県内各地で河川の氾濫や浸水被害が発生したりと、予期せぬ自然被害が社会経済の持続性に影響を及ぼし兼ねない課題となっております。誰も予想出来ない事が当たり前のようになり、不測の事態に備え、対応しながら地域社会を着実な成長軌道に乗せなければなりません。原材料価格の高騰や人件費の高騰、労働力不足など、中小企業には人材採用が難しい状況にあると言えます。対処すべき課題は複雑化、多様化すると共に、その解決に向けた難易度も高くなっております。

このような時代だからこそ刻々と変化する環境をしっかりと見極め、創意工夫を持って弛まぬ挑戦を続けていく事が何より重要となります。法人会の企業の皆様には、是非その気概を持って、地域経済の成長をリードして戴きたいと思っております。

結びとなりましたが、法人会一同「明るく、楽しく、役に立つ」をモットーに活動して参ります。益々のご支援、ご協力をお願いすると共に会員企業様並びに関係団体様のご発展とご隆盛を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



小野 貴寿

河村 了

大畑 雅通

石野 文則

町田 米男

伊東 康彦

杉山 功

荒澤 光彦

公益社団法人 浜松東法人会

新しい年を迎え会員の皆様のご発展をお祈り申し上げます
令和八年一月

謹賀新年